

授業科目名 <英訳>		英語論文の書き方 How to write papers in English				担当者所属・ 職名・氏名		医学研究科 教授 古川 壽亮			
配当 学年	専門職	単位数	1	開講年度・ 開講期	2018・ 通年集中	曜時限	集中講義	授業 形態	講義	使用 言語	日本語
[授業の概要・目的]											
基本的に、MPH2回生またはそれよりも上級のレベルの学生とした、量的な臨床研究論文を英語で書くための講義・演習です。											
[到達目標]											
こういう臨床研究論文は、5本ほど書くと、だいぶパターンが分かってきて、1本目2本目よりはるかに書きやすくなります。今回の講義・演習は2本目くらいの人に、いっきに5本目の境地に達することができることを、目指しています。											
[授業計画と内容]											
<p>夏季休暇の始めに1日、夏季休暇の最後に1日の合計8時間の集中講義です。</p> <p>第1日（8月7日）には、あらかじめ受講生をグループ分けして分担を決めますので、康永秀生『必ずアクセプトされる医学英語論文完全攻略50の鉄則』（金原出版）および『JEMNet論文作成マニュアル第2版』（http://jemnet.asia/wp/?page_id=84から無料でダウンロードできます）をテキストにして、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Methodsの書き方 2. Resultsの書き方 3. Introductionの書き方 4. Discussionの書き方 5. AbstractとTitleの書き方 6. 書き出す前に：論文のストーリーの組み立て方 7. 投稿する前に cover letterの書き方：投稿先の選び方、査読者の推薦のコツ <p>といったテーマごとに発表をしていただきます。そして、古川から、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな経験談、失敗談 ・受講生の困り事へ、質疑応答を通してアドバイスを加えます。 <p>第1日から第2日への間の宿題として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記の基本知識を元に、自分の書きかけの論文を書き進めて下さい ・第1日から第2日までの間には8週間ありますから、きっと何本も論文を読まれるでしょう。その中から、実際の論文ではどんな構成になっていたか、また上手な言い回しをピックアップしてくるという作業を、グループ毎にやってもらいましょう <p>第2日（9月25日）には、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの数人の方の論文を具体的にグループでブラッシュアップしましょう ・その過程、そして各人が8週間で自分の論文を書き進めるに当たって困った点の質疑応答 ・上手な言い回し集の完成 ・査読者への対応のコツ <p>を演習形式で進めます。</p>											
----- 英語論文の書き方(2)へ続く -----											

英語論文の書き方(2)

[履修要件]

- ・ TOEFL iBT 70点以上 (iBT以外のTOEFLも可)、またはIELTS 5.5点以上を取っていること
何年前のものでも構いませんが、正式レポートのコピーの提出が必要です。
- ・ 英文論文 (症例報告でも、総説でも良いが、英文の書き物) を1本は出版していること
- ・ そしてできれば現在執筆中の英文論文があること

[成績評価の方法・観点及び達成度]

講義への参加、講義中の発表および課したレポートによって評価する

[教科書]

康永秀生 『必ずアクセプトされる医学英語論文完全攻略50の鉄則』 (金原出版) ISBN:978-4-307-00478-7

後藤匡啓 『JEMNet論文作成マニュアル第2版』 (JEMNet) (http://jemnet.asia/wp/?page_id=84からダウンロードできます)

[参考書等]

(参考書)

[授業外学習 (予習・復習) 等]

グループ分け、およびその分担は、第1日の1ヶ月くらい前をメドに連絡します。

(その他 (オフィスアワー等))

人間健康科学系専攻学生の受講可否: 不可

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。